

市町村名	与那原町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	大綱曳倉庫作業場整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-(イ) 市場特性に対応した誘客活動の展開	
担当部課名	観光商工課		事業実施 年度	平成 25	~ 平成 28	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳関連備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び綱つくり作業場となる倉庫を建設する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	合計	
	A. 予算現額	46,250	5,000		184,700	235,950	
	B. 執行済額	43,176	3,229		179,350	225,755	
	うち 交付金充当額	34,541	2,583		143,480	180,604	
	執行率(%) (B/A)	93.4%	64.6%		97.1%	95.7%	
執行状況の説明	H25年度分46,250千円を平成26年度にそのまま繰越。平成26年度は5,000千円を予算計上し3,229千円を執行。H27年度は事業なし。平成28年度は184,700千円を計上し、72,370千円を執行。残りの112,330をH29年度に繰越し、H29年度は106,980千円を執行した。10,195千円は入札残等である。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	・用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計	目標	・用地取得2,299㎡ ・建設基本・実施設計				
		実績	・用地取得2,299㎡ ・建設基本・実施設計				
	倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き	目標		倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き			
実績			倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き				
大綱曳倉庫・作業場の建設工事の実施	目標				大綱曳倉庫・作業場の建設		
	実績				大綱曳倉庫・作業場の建設完了		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	・用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計	目標	・用地取得2,299㎡ ・建設基本・実施設計				
		実績	・用地取得2,299㎡ ・建設基本・実施設計				
	倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き	目標		倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き			
実績			倉庫建設予定地購入にかかる事業認定手続き				
天候に左右されない綱作りの実施、綱作り作業道具の一元管理	目標				天候に左右されない綱作りの実施、綱作り作業道具の一元管理		
	実績				天候に左右されない綱作りの実施、綱作り作業道具の一元管理が可能となった		

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度 目標/発現年度
	本事業により整備した倉庫について、利用団体へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	目標	本事業により整備した倉庫について、利用団体へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	本事業により整備した倉庫について、利用団体へのアンケート調査を実施し、利便性が確保されたか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。			
実績		与那原大綱曳まつり実行委員会各係の施設利用や車の安全な保管、道具等の一元管理は可能となった。アンケート調査は内容の精査等準備不足で実施することができなかった。					
状況説明	【H30年度】 ・天候に左右されない綱作りの実施、綱作り作業道具の一元管理が可能となった。その他、綱曳に関する作業においても今までとは比べ物にならないくらい、作業の効率が上がった。しかし、アンケートの内容等を決定し精査することができなかったため、アンケート調査ができていない。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

【H30年度】 ・施設が完成したことにより、藁の搬入や点在していた綱曳関係道具の一元管理が可能となった。また、各行政区綱作りの場所として施設を開放しているため、地域行事の憩いの場としても使用されている。しかし、目標で掲げた利用団体へのアンケート調査が実施できていない。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・	【H30年度】 ・新しい施設であるため、場所やアクセス方法が「わからない」等の問合せがある。広報誌や町のポータルサイトを活用しながら広く町民に紹介していく必要がある。アンケートに関しても内容を精査し、次年度には実施する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
---	---

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】 ・天候に左右されない綱作りの実施、綱作り作業道具の一元管理を目的に建設された「大綱曳倉庫作業場」であるが、綱曳の魅力・施設の活用を町内外に発信していくために施設を利用して「綱曳写真展示会」や「綱曳衣装展」など「与那原大綱曳まつり実行委員会」のみなさんからの意見を聞きながら施設の新たな活用を考えていきたい。また、「よなばる観光まちづくりネットワーク」とも連携を取りながら施設を利用しての体験型プログラムが作成できないか協議していく。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
